

ごみが地球を救う

食料生産と環境問題の解決にむけて

今年の夏も暑かった。異常気象も、世界各地で頻発しています。想定しない高温や猛暑。巨大な台風やハリケーン、小雨・干ばつ、山火事。寒波や豪雪。地球の生態システムは、大きく変化しようとしています。価格の高騰や米不足、食料問題も深刻になりつつあります。飢餓に苦しみ、紛争に直面する人々。現在、地球上に生きる7人のうち6人は不安を抱えて生きています。わたしたちに、何ができるのでしょうか。身近なところから、わたしたちの生活を見直してみませんか。

2024. 11. 27 [wed]
17:00~18:00 (OPEN:16:30)

@ANAクラウンプラザホテル広島
3階オーキッドの間

無料・先着300名様 事前申し込み不要、
直接会場にお越しください

講師

大山 修一

おおやま しゅういち

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、アフリカ地域研究資料センター 教授

京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程 修了。博士(人間・環境学)。1993年から南部アフリカのザンビア、2000年から西アフリカのサヘル地域において現地調査を継続している。都市の有機性ゴミを使った荒地の緑化、環境修復をつづけ、都市での清掃活動や農村での食料増産、民族紛争の予防などに取り組んできた。京都大学では、「生態人類学」「自然地理学」「文学部特殊講義」「アフリカ環境学」「ハウサ語」などの授業を担当している。現在、総合地球環境学研究所において「都市と農村の有機物循環プロジェクト」(2024.4~2029.3)で、アフリカの都市や京都市内で都市に蓄積した有機性ごみ(食品ゴミや下水汚泥など)をつかった農業利用の取り組みを進めている。

プロジェクト ホームページ：<https://organic-rihn.chikyu.ac.jp>



問合先 広島京大会事務局 TEL (082)942-2853 (井上)

広島京大会は、県内在住の京都大学卒業生約900名からなる同窓会です

後援 中国新聞社(申請中)、広島県(申請中)、広島市(申請中)



2024 講演会
FB ページ

主な著作や活動、メディア出演

- 2015 『西アフリカ・サヘルの砂漠化に挑むーごみ活用による緑化と飢餓克服、紛争予防』. 昭和堂
- 2016 『開発と共生のはざまー国家と市場の変動を生きる』(アフリカ潜在力シリーズ 太田至 総編集 第3巻)
京都大学学術出版会
- 2020 『ザンビアを知る 55 章』明石書店
- 2016～2023 「ニジェールでゴミを集める日本人」「JICA ニジェール支所便り」連載
- 2018 ゴミで地球を救う！砂漠を緑に変える日本人『世界一受けたい授業』日本テレビ
- 2024 アフリカ・ニジェールの砂漠を、ごみで緑化する日本人『Across the Sky、World Connection』J-Wave
- 2024 生ゴミを使ってコンポスト(有機肥料)を作ってみよう 週間さんいん学聞(まなぶん)山陰中央新報.
8月4日朝刊5面
- 中学社会科「地理」、高等学校「地理」教科書の教科書の執筆(帝国書院)など
京都府教育委員会との連携事業 「食品ゴミから肥やしを作ろう」授業提供
(京都府下小学校 5年生、6年生)

京都大学 公式 YouTube、ウェブサイト記事

- 「アフリカ・砂漠の緑化活動ー都市ゴミと家畜を使って」
<https://www.youtube.com/watch?v=pl1lmHj8RRE>
- 「飢えと争いをなくすため、砂漠をごみで緑化する」
<https://www.youtube.com/watch?v=JZ-pSHJhmtM&t=1s>
- ドキュメンタリー 飢えと争いをなくすため、砂漠をゴミで緑化する。
「アフリカの人道危機を解決する実践平和学」
<https://research.kyoto-u.ac.jp/documentary/d021/>

協賛いただいた法人の皆様 (あいうえお順)

岡重 株式会社	代表取締役社長	岡野 賢太郎
税理士法人きずな国際部門	代表社員	井上 友一
合人社グループ	代表取締役会長兼 CEO	福井 滋
合田産業 (株)	代表取締役社長	合田 尚義
医療法人翠清会 翠清会梶川病院	会長	梶川 博

協賛いただいた個人の皆様 (あいうえお順)

(匿名希望の方については記載していません)

石村 隆和	尾崎 清	松本 浩幸
依田 泰	釜石 英雄	山本 健一
稲本 信秀	栗田 芙實子	吉岡 嘉暁
今田 道宏	下西 祥平	吉原 寛
采女 佳代子	中川 日出男	